

# 被災地での鍼灸治療・セルフケアについて

3 すべての人に  
健康と福祉を



4 質の高い教育を  
みんなに



キーワード

大規模災害・鍼灸治療

## ○取り組んだきっかけと目的

私は東日本大震災において、釜石市での鍼灸施術ボランティアに従事し被災者・支援者に対する鍼灸医療の必要性や有効性を目のあたりにしてきました。他にも熊本地震や西日本豪雨災害、熱海市伊豆山土石流災害などの現場で治療を行ってきました。少し分かってきたことは、身体や心の不調は分かりやすい外傷に比べて軽視されがちですが、放っておくと災害関連死につながる事もあり、予防するには様々な細かい配慮やアプローチが必要だということです。そして身体の不調を少ない道具で軽減することが出来る鍼灸治療は、災害時に有用であると考えたのが、活動にとりくんだきっかけです。

現在の活動目的は自分自身が現地で施術をするだけでなく、外部団体である災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会（DSAM）委員及び日本鍼灸師会危機管理委員として行政や他職種との連携、有事に備えた鍼灸師の育成、災害現場での円滑なロジスティック活動及び研究発表の推進です。

## ○具体的な内容

今年は2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震関連した活動を行いました。

### 1. 鍼灸施術ボランティアを行うためのロジスティック活動

日程：2024年1月1日～4月1日

実施内容：以前までの活動において情報の素早く正しい共有が課題となっていたため、全国各地に分散している支援者がクラウドにアクセスする仕組みを作成・導入しました。現地で活動する際のトラブルを未然に防ぐなど、大きな役割を果たしました。また、この成果について学会発表も行いました。（文献1）

### 2. 現地での施術ボランティア

日付：令和6年1月27日～28日、3月9日～10日の計2回

場所：いしかわ総合スポーツセンター

実施内容：鍼灸施術ボランティア

最初は不安からマッサージを希望される方が多かったが、鍼灸治療の説明を十分に行い理解していただき施術を行うと次回も鍼を行えるようになり、肩こりや腰痛をはじめとして、主に痛みの治療をおこないました。

村上高康

健康プロデュース学部 健康鍼灸学科

准教授



### 3. 災害鍼灸支援活動啓蒙活動

日付：令和6年2月22日～24日

場所：第29回日本災害医学会総会（みやこめッセ）

内容：鍼灸施術体験

医療従事者の方でも初めて鍼灸治療を受ける方が多く、施術を通して治療内容と災害時における活動の理解をしていただけました。



### 4. 災害時に活動可能な鍼灸師の養成

日付：令和6年3月3日

場所：静岡県鍼灸師会講習

（浜松市福祉交流センター）

テーマ：災害時の非常食のありかた

日付：令和6年7月27日

場所：第7回DSAM研修会

（履正社国際医療スポーツ専門学校）

内容：能登半島災害支援活動報告

施術時想定したロールプレイ



## ○今後に向けて

災害は、いつ発生するか誰にも分かりません。今後も多くの方々と継続して活動を行い、来る災害に適切な行動をとることが出来るよう、備えていきたいと思っています。

文献)

1)村上高康ら.令和6年能登半島地震における鍼灸マッサージ施術導入までの報告 後方支援活動を経験して.第73回全日本鍼灸学会学術大会宮城大会抄録集.2024;207.

連携先

・災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会 (DSAM)

・日本鍼灸師会 危機管理委員会

・静岡県鍼灸師会